

中一国語

言葉の単位 第一回 文節

---

講師・・羽場雅希

◆ 今日の授業で学ぶこと

- ・ 句読点
- ・ 言葉の単位

## ◆ 句読点

〈。〉の<sup>く</sup>ことを句点<sup>くてん</sup>といい、〈。〉の<sup>く</sup>ことを読点<sup>とくてん</sup>といい、二つ合わせて「句読点<sup>くとうてん</sup>」という。

わかりやすい文章を書くためには、句読点を適切につける必要がある。

私は読書が好きだ読書をすることは素晴らしいなぜそう考えるのか答えを簡単に言い表すことは難しい理由がいくつもあつて自分でもどう説明してよいかかわからないただ一つ理由をあげるなら本を読むと自分ではない他人になれるのだ人生は一度きりなのに本を読めば違<sup>ちが</sup>う人生をのぞくことができる自分の知らなかった世界が開けるような心地よい感覚を抱<sup>いだ</sup>くのだ

## ◆ 言葉の単位

- ①文章 いくつもの文が集まっているもの。
- ②段落 文章をいくつかのまとまりに分けたもの。始まりを一字分だけ下げる。
- ③文 まとまった一つの意味があり、句点（。）で言い終えるもの。
- ④文節 意味を壊こわさずに文を区切ったもの。  
意味の伝わる最小単位。
- ⑤単語 それ以上分けられない言葉の最小単位。

【実際に見てみよう】

私は読書が好きだ。読書をすることは素晴らしい。  
らしい。

なぜそう考えるのか、答えを簡単に言い表すことは難しい。理由がいくつもあって自分でもどう説明してよいかわからない。

ただ一つ理由をあげるなら、本を読むと自分ではない他人になれるのだ。人生は一度きりなのに、本を読めば違う人生をのぞくことができる。自分の知らなかった世界が開けるような、心地よい感覚を抱くのだ。

【第一問】〈言葉の単位〉

次の空欄に当てはまる言葉を後の語群から選  
びなさい。

いくつもの文が集まっているものを  
（1）といい、それをいくつかのまとま  
りに分けたものを（2）という。これ  
には始まりを一字分だけ下げるといふ決ま  
りがある。また、まとまった一つの意味  
があり、句点（。）で言い終えるものを  
（3）という。さらに（3）を意味  
を壊さずに区切ったものを（4）という。  
そして、これ以上分けられない、言葉の最小  
の単位を（5）という。

〈語群〉 文章 文節 単語 段落 文

(4)	(1)
(5)	(2)
	(3)

## 【第二問】

次の(1)～(5)の文に／を書き入れ、文節に区切りなさい。

(1) 途<sup>と</sup>中で、弟の友人に会った。

(2) すぐ教室へもどることは難しい。

(3) 朝からの雨が、やまない。

(4) 彼<sup>かれ</sup>の接し方は親切だ。

(5) 友達の犬と遊ぶことは楽しい。